

8K:VRプロジェクト

NHKエンタープライズでは、放送番組制作で培った8K映像制作・演出のノウハウを放送番組以外の体験に広げるための様々なプロトタイピングを行っています。本プロジェクトでは、8Kによる高精細な大画面と立体音響を軸に、最先端技術を活用した空間演出手法を開発し、いまだかつてない空間型体験をご提案します。



碧

[8K:VR Theater]



東京VICTORY

[8K:VR RIDE]



カナシミの国のアリス

[8K:VR INTERACTIVE]

共有できるVR体験のご提案

本プロジェクトでは、8K大画面映像を活用した没入感の高い空間体験を、8K:VRと名付けました。バーチャルな空間体験としてヘッドマウントディスプレイを使ったものも開発実用化されていますが、8K:VRでは、これとは異なる多人数で「共有できる」オルタナティブなVR(バーチャルリアリティ体験)が可能です。

美術館や博物館、シアターやアトラクション、商品プロモーションなど、メディア体験を通じて素材、コンテンツ、商品の価値を伝えたい、新しい映像技術8Kや立体音響を活用した空間演出や体験を創りたい、さらには新たな空間そのものの体験価値を高めたいというみなさまのご要望に応じてご提案いたします。

8K:VRプロジェクト開発事例

プロトタイプケース

第1作 8K:VR Theater



日本が開発した最新鋭のデジタルメディア技術 8K3Dと22.2ch 立体音響による、シアター型の体験です。プロトタイプでは、サカナクションの代表曲「Aoi」を、22.2chスピーカーシステム向けに再構築、世界的に活躍するサウンドアーティストのevalaとコラボレーション、映像は8Kを3D化し、立体感あふれる豊穡なエンターテインメント空間を創造しました。

8K:VR Theaterでは、実物と映像との区別がつかなくなる、未来のメディアエンターテインメントをご提案します。

第2作 8K:VR RIDE



8K:VRライドは、「8K+ドーム型ワイドスクリーン+モーションライド+5.1ch」で構成する、世界初の8K映像によるモーションライドシステムで、ヘッドマウントディスプレイを使わずに没入感に満ちた体験が可能です。プロトタイプでは、サザンオールスターズのヒット曲「東京VICTORY」の世界感で、東京を時空を超えて旅します。

幅5.2m、高さ3.4m、奥行き2.6mのドーム型ワイドスクリーンに、4Kまたは8Kの映像をプロジェクション投射できる映像システム。

8K:VRライドでは、このシステムに8K対応プロジェクターと、電動6軸モーションベースを組み合わせ、世界初の8K映像によるモーションライドシステムによる体験をご提案します。

第3作 8K:VR INTERACTIVE



8K×3D×interactiveは、正面8K3D、床面4K2DのDual Projection、音響は22.2chサラウンド空間、さらにTouchDesignerを使ったインタラクティブな仕掛けを入れ込み、ヘッドマウントディスプレイを使わずに空間そのものを物語体感装置化することができます。

鑑賞者の人数やその動きをDENSO 3DLiDARで読み取り、拍手はマイクで拾い、それらをトリガーにリアルタイム3D描画を行います。プロトタイプでは、「不思議の国のアリス」にインスパイアされたオリジナルシナリオをもとに、空間に物理的に入り込むインタラクティブな映像体験を実現しました。

8K×3D×interactiveでは、8K3D映像と立体音響をインタラクティブに実装することで、没入感の高い体験をご提案します。